

I. 2017年度 事業活動骨子

1-1 JACE を取り巻く概況

2017年の日本経済は、「雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復している。」としている。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。また、AIやIoT技術の登場により新たな製品やサービスが生まれ、企業の稼ぎ方も単なるモノ売りから、サービスと連動する形に移行しています。

また、インバウンド関連では、2017年の訪日外国人旅行者数は、2,869万人、前年比119.3%と伸び続けており、国際MICE全体の波及効果は約1兆円と発表されておりイベント業界に大きな影響を与えている。

広告コミュニケーションの面では、電通発表の「2017年日本の広告費」では、広告費は6兆3,907億円、前年比101.6%であり6年連続で前年実績を上回っている。その中でもイベント業界に関連するプロモーションメディア広告の中の展示・映像に関しては、前年比106.1%の3,389億円とインターネット広告の前年比115.2%の15,094億円について2番目の高い伸びを示している。この理由としては、訪日外国人観光客に向けた観光関連展示や首都圏を中心とする再開発事業や空港や駅でのサービス機能強化、モーターショー開催年であったことによる展示映像需要増と分析されている。

JACE自身の調査研究活動である2017年イベント消費規模推計報告書(6月中旬発表予定)の速報値では、消費合計額は16兆6,490億円、前年比100.7%と若干の伸長であったが、会議イベントが2兆3,785億円、前年比124.3%、興業イベントが5兆6,828億円、前年比134.9%と他のカテゴリーと比して大きく伸長しているのは、会議イベントは企業や行政などが開催するイベントの活性化、興業イベントはイベントそのものをスポーツやコンサートなどのリアルな空間でイベントを楽しむもうとする層が増えているのではないかと予測される。

当協会は今期8月に設立30周年を迎える。リアルなコミュニケーションの場としてイベントが企業や自治体の様々なコミュニケーションのコアになっているという事実やその重要性の高まりがイベント産業の活性化に繋がっている。

当年度の収支の概要は以下のとおりであった。

- 経常収益の合計は63,004千円となり、対前年36千円の減となった。
- 経常費用の合計は62,419千円となり、対前年196千円の減となった。
- これにより2017年度の税引き前当期経常増減額は515千円の収支黒字となり、税引き後の正味財産の期末残高は33,764千円となった。

1-2 2017年度協会主要な事業活動

2017年度の協会事業活動に関して以下の項目にて、2017年6月の第7回定時総会にて主要活動として以下4項目の活動内容を報告した。

1-2-1 会員事業及び協会運営

- ① 会員事業：期初65社の正会員企業を70社に、賛助会員の増も目指す

- ②協会運営：委員会、プロジェクト等の会員による活動の積極展開を図ると共に、総務委員会の運営方法を再検討していく

1-2-2 人材育成事業

- ① 資格事業：イベント業務管理士 1 級 2 級の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する
- ② 検定事業：3 検定とイベント業務管理士 2 級の試験を同日に行うことで一度に 2 つの受験が可能な場を提供する
- ③ 教育事業：出版物のデジタルデータ化を促進させて販売の活性化を行うと共に、イベント業務管理士テキスト「イベント・プロフェッショナル」2 分冊を 1 冊に改訂し改訂テキストの運用を開始する

1-2-3 調査研究事業

- ① 会員社からのニーズに応えたイベント市場規模調査も加えた調査研究プログラムを再設計する
- ② 会員社のビジネスに資する調査研究のためアスタナ万国博覧会の視察ツアーを実施し若手のノウハウ研修、ビジネスネットワーク拡大強化を目指す

1-2-4 普及啓発事業

- ① JACE イベントアワードの実施
- ② 会員企業を対象としたセミナーの開催
- ③ 各種団体との交流促進

以上、主な 4 項目に関する事業運営報告は以下の通りである。

1-3-1 会員事業及び協会運営

- ① 会員事業：期初 65 社の正会員を 70 社に、賛助会員の増も目指す
⇒正会員/63 社 2 社減（新規 2 社<ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、メトロアドエージェンシー>、退会 4 社<テイケイ、ライジングサン、アシストジャパン、アクティオ>）、
賛助会員/22 社 1 社増（新規 1 社<大阪ビジネスカレッジ専門学校>）
- ② 協会運営：委員会、プロジェクト等の会員による活動の積極展開を図ると共に、総務委員会の運営方法を再検討していく
⇒10 月実施の第 22 回理事会に議題として審議された、新組織運営は「総務委員会」の機能強化を目指すものであり、総務委員会の傘下には、今年度は JACE の 30 周年期間に入るため「創立 30 周年部会」を新規に立ち上げて来期の協会運営を行っていくことが承認された。

1-3-2 人材育成事業

- ① 資格事業：イベント業務管理士 1 級 2 級の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する
⇒2017 年 11 月実施のイベント業務管理士 2 級試験に関しては名古屋会場を増やし 6 会場で実施した。更に、2018 年 2 月実施のイベント業務管理

士 1 級試験に関しても、札幌会場を増やし 16 名の受験があった。一級試験としては新会場となる札幌においてはセミナーも 1 月 26・27 日に実施した。来期に関しても地方の取り込みを目指して地域拡大を検討していく。

- ② 検定事業：3 検定とイベント業務管理士 2 級の試験を同日に行うことで一度に 2 つの受験が可能な場を提供する
⇒昨年度は、7 月・11 月実施の試験は、午前中にイベント 3 検定試験、午後にイベント業務管理士 2 級試験の受験可能であることをセミナー等で告知し、3 名が同一日で 2 つの検定資格試験を受験した。(3 名とも 2 試験とも合格)
- ③ 教育事業：出版物のデジタルデータ化を促進させて販売の活性化を行うと共に、イベント業務管理士テキスト「イベント・プロフェッショナル」2 分冊の合本を行い 1 冊に改訂し新テキストの運用を開始する
⇒デジタル版のテキストは 2017 年 12 月までの累計で合計 93 冊が販売された。今後も積極的に告知し販売強化を行っていく。一方、「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂に関しては、大幅な改定作業となり前期には完成できず今期半ばには運用開始予定となった。

1-3-3 調査研究事業

- ①会員社からのニーズに応えたイベント市場規模調査も加えた調査研究プログラムを再設計する。
⇒従来まで「イベント市場規模推計報告書」と「イベント来場者の消費額と意識に関する調査報告書」の 2 分冊であったものを、今期は「イベント消費規模推計報告書」として 1 冊にまとめて発刊し、デジタル版での販売も開始した。
また、2016 年度より継続して進行している「イベント未来創造プロジェクト」においてイベントビジネスのフレームと産業規模を捉え直すことの必要性がある。このため、イベント業界全体の数字をより反映した「イベント産業規模統計」を発表するべく継続作業中である。
- ②会員社のビジネスに資する調査研究のためアスタナ万国博覧会の視察ツアーを実施し若手のノウハウ研修、ビジネスネットワーク拡大強化を目指す
⇒7 月 18 日～24 日で JACE 会員 6 社/計 15 名で<2017 年 6 月 10 日～9 月 10 日>に開催されたアスタナ国際博覧会実地視察と<2020 年 10 月 20 日～2021 年 4 月 10 日>に開催予定であるドバイ国際博覧会事務局訪問と予定地視察を行った。また、この視察団からは 10 月実施の第 22 回 JACE 理事会において報告会を行った。

1-3-4 普及啓発事業

- ① JACE イベントアワードの実施
⇒第 3 回となる「JACE イベントアワード」は 2016 年 12 月から募集を開始。全応募 106 作品の中から、「日本橋 桜フェスティバル」が《経済産業大臣賞（日本イベント大賞）》を受賞した。また、愛媛県宇和島水産

高校の「女子高生によるマグロ解体ショー・フィッシュガール」が《イベント業務管理士が選ぶ、イベントプロフェッショナル賞》、他合計8つの部門賞が誕生し6月12日にホテル雅叙園東京にて表彰授賞式を開催した。イベント業務管理士の選ぶプロフェッショナル大賞にも258名からのネット投票が集まった。業務管理士有資格者らしいコメントが多く寄せられたが、こちらは現登録数約2,300名と比べるとまだまだ引き上げていく余地がある。

JACEの活動としては手ごたえのあるコンテンツとなり、セミナーへの活用の手ごたえも確認できた。後援いただいた経済産業省だけでなく、日本商工会議所、各イベント関連団体からの評価を得ている。第4回は17年10月から募集が始まった。3月に一次審査、4月末に最終選考を終えた。応募件数は全135作品。6月12日の表彰授賞式に向け作業中。

② 会員企業を対象としたセミナーの開催

⇒前期に関しては、JACEが主催するセミナーの開催は実施出来なかった。今期開催に向けて、広く社会にイベントに関わる情報発信、会員社と資格取得者へのコミュニケーション強化、JACEのプレゼンス向上に向けて全日本広告連盟などとの今期中の共催も継続して検討している。

II. 2017年度 事業活動報告

2-1 主な協会運営活動

2-1-1 総会

総会は、以下のとおり2回（定時総会1回、臨時総会1回）開催し、いずれの議案も異議なく承認した。

●第6回定時総会

日 時 2017年6月12日（月）午後3時～4時

場 所 目黒雅叙園4階 孔雀の間

正会員総数65名のうち出席正会員数41名（その内 理事18名、監事2名）

【 議題 及び 報告事項 】

議題1. 平成28年度事業報告の件

議題2. 平成28年度決算 承認の件《第1号議案》

議題3. 任期満了に伴う理事選任の件《第2号議案》

●第7回臨時総会

定款第20条の規定に基づき専務理事より理事二名選任の提案が2018年1月24日にあり、書面決議による臨時総会により2018年2月7日にその選任の決議があった。

2-1-2 理事会

理事会の活性化と審議の深耕のため毎回7割超の理事ご本人の出席を得て開催のうえ業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

●第20回理事会

日時 2017年5月12日(金)午後3時～4時
場所 東京グリーンパレス地下1階 さくらの間
理事総数22名のうち理事出席17名、監事出席2名

【議題及び報告事項】

- 議題1. 平成28年度事業報告書・決算諸表 承認の件<第1号議案>
- 議題2. 会員入会 承認の件<第2号議案>
- 議題3. 平成29年度第6回定時総会開催 承認の件<第3号議案>

●第21回理事会

日時 2017年6月12日(月)午後4時15分～4時45分
場所 目黒雅叙園4階 孔雀の間
理事総数22名のうち理事出席20名、監事出席2名

【議題及び報告事項】

- 議題1. 代表理事並びに役職理事等選定の件<第1号議案>

●第22回理事会

日時 2017年10月11日(水)午後2時～3時
場所 東京グリーンパレス地下1階 さくらの間
理事総数22名のうち理事出席16名、監事出席1名

【議題及び報告事項】

- 議題1. 会員入会 承認の件<第1号議案>
- 議題2. 職務執行状況の報告
 - ① 協会運営について
 - ② 人材育成事業について
 - ③ 調査研究事業について
 - ④ 普及啓発事業について

●第23回理事会

日時 2018年1月23日(火)午後2時～2時40分
場所 ホテルグランドアーク半蔵門5階 シンフォニーの間
理事総数22名のうち理事出席16名、監事出席1名

【議題及び報告事項】

- 議題1. 会員入会 承認の件<第1号議案>
- 議題2. 職務執行状況の報告
 - ① 資格事業の進捗について
 - ② 調査研究事業の進捗について
 - ③ 協会運営に係る委員会・部会について
 - ④ その他の活動について
- 議題3. 事務局長委嘱について

●第24回理事会

日時 2018年3月20日(火)午後3時～4時

場 所 東京グリーンパレス地下1階 さくらの間
理事総数 22名のうち理事出席 18名、監事出席 2名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 職務執行状況の報告

- ①平成 29 年度活動総括・決算見込について
- ②平成 29 年度業務執行状況について
- ③平成 30 年度部会委員会作業進捗について
- ④その他の活動について

2-1-3 委員会活動

(1) 総務委員会

協会の運営を円滑に進行する実施機関として総務委員会を理事会の直前に 6 回開催した。

●第 1 回 2017 年 5 月 9 日 【 議題 及び 報告事項 】

- ・2017 年度事業報告及び決算報告
- ・公益目的支出計画実施完了について
- ・第 3 回 JACE イベントアワード最終選考会について

●第 2 回 2017 年 6 月 20 日 【 議題 及び 報告事項 】

- ・総会・理事会報告
- ・第 3 回 JACE イベントアワードについて
- ・人材育成事業について
- ・消費規模推計調査報告書について
- ・2017 年度委員会・プロジェクトの設定について

●第 3 回 2017 年 9 月 19 日 【 議題 及び 報告事項 】

- ・第 4 回 JACE イベントアワードの進捗について
- ・「アスタナ・ドバイ」視察団次回理事会報告について
- ・会員加入の報告
- ・JACE30 周年に向けたテーマ・全体スケジュールについて
- ・来期の組織運営について
- ・その他、ホームページ改訂・J アラート・関連団体連絡事項

●第 4 回 2017 年 11 月 21 日 【 議題 及び 報告事項 】

- ・人材育成事業の進捗について
- ・JACE30 周年部会・実施内容案について
- ・第 4 階 JACE イベントアワードの進捗について・会員退会の報告
- ・その他、2018 年 1 月以降のスケジュール・賀詞交歓会の構成
- ・関連団体連絡事項・行政情報

●第 5 回 2018 年 1 月 16 日 【 議題 及び 報告事項 】

- ・人材育成事業の進捗について
- ・2017 年イベント消費規模推計調査の進捗について
- ・委員会・部会の組成と今後について
- ・第 4 回 JACE イベントアワードの進捗について

- ・ 賀詞交歓会の構成について
- ・ その他、2018年1月以降のスケジュール、関連団体連絡事項、2020組織委員会関連、東京観光財団関連。地域振興関連、海外IR、MICE施設視察の検討

- 第6回 2018年3月13日【議題及び報告事項】
 - ・ 2017年度活動総括及び決算見込について
 - ・ 人材育成事業の進捗について
 - ・ 第4回JACEイベントアワードの進捗について
 - ・ 2018年度部会・委員会作業の進捗について
 - ・ その他、関連団体連絡事項・今後のスケジュール

(2) 能力コンテンツ委員会

資格試験運営に関する事項の審議および新たな事業取り組みに係る検討等を、以下のとおり9回開催した。

- 第1回 2017年4月14日 【課題及び報告事項】(以下省略)
 - ・ 試験スケジュール確認
 - ・ 試験会場・試験監督官について
 - ・ 講師向けセミナー開催概要検討
 - ・ 登録更新 受付進捗
 - ・ 電子書籍販売開始(2017/3より)
 - ・ JACE新会員情報
- 第2回 2017年6月8日
 - ・ 講師向けセミナー報告(2017/6/3実施)
 - ・ 試験・セミナー受付進捗
 - ・ 試験問題作成スケジュール、試験運用の効率化
 - ・ 認定校関係 受験速報
- 第3回 2017年7月20日
 - ・ 試験報告
 - ・ 後期試験 受付開始
 - ・ 試験問題作成スケジュール
 - ・ 登録更新 受付進捗
- 第4回 2017年8月29日
 - ・ 試験報告(認定校受験)
 - ・ 2018年度の試験スケジュール
 - ・ 「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂について
- 第5回 2017年9月27日
 - ・ 総務委員会報告
 - ・ 試験報告(認定校関係)
 - ・ 試験受付進捗

- ・試験問題作成スケジュール
 - ・2018年度の試験スケジュール 確定
 - ・受験者増 施策検討
 - ・「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂について
- 第6回 2017年11月29日
 - ・総務委員会報告
 - ・1級受付進捗
 - ・試験問題作成スケジュール
 - ・2018年度の試験スケジュール 確認
 - ・講師向けセミナー開催概要検討（2018/3/14 実施）
 - 第7回 2017年12月12日
 - ・1級受付進捗
 - ・1級採点スケジュール
 - ・講師向けセミナー 詳細検討
 - ・「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂について
 - 第8回 2018/2/2
 - ・1級試験 受験結果速報
 - ・1級採点スケジュール
 - ・講師向けセミナー 詳細確定
 - ・2018年度年間試験スケジュール 確認
 - ・2018年度 ポスター、チラシ案
 - ・「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂について
 - 第9回 2018年3月6日
 - ・1級試験 受験結果（確定）
 - ・1級採点スケジュール
 - ・講師向けセミナー 直前打ち合わせ
 - ・2018年度スケジュール確認
 - ・2018年度 ポスター、チラシ確認
 - ・「イベント・プロフェッショナル」テキスト改訂について

2-1-4 人材育成事業

「イベント業務管理士」資格試験

(1) 「イベント業務管理士1級」資格試験

年に1回実施。東北、北海道地区での受験者増に伴い、急遽札幌会場を追加した。

◆2018年2月17日（土）13:00～15:40

（東京：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKPガーデンシティ東梅田、札幌：アクセスサッポロ（札幌流通総合会館）の3会場で実施）

公式テキスト「イベント・プロフェッショナルⅠ／Ⅱ」から出題。

記述 5 問選択と、小論文 1000 文字程度で 150 分。

1 級の受験者は 105 名（前年 98 名）、合格者 76 名（前年 75 名）、合格率 72.4%。3 月 16 日（金）にホームページで合格番号を発表し、登録手続きを開始した。

(2) 「イベント業務管理士 2 級」資格試験

2016 年度より、「イベント業務管理士 2 級」試験を年に 2 回実施している。2017 年度は、新たに札幌会場を追加し 25 名が受験した。

◆前期試験：2017 年 7 月 8 日（土）14:00～16:00

（東京：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKP ガーデンシティ東梅田）

◆後期試験：2017 年 11 月 18 日（土）14:00～16:00

（東京：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKP ガーデンシティ東梅田、札幌：アクセスサッポロ（札幌流通総合会館）、新潟：万代島ビル会議室、名古屋：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口、福岡：九州共立大学の 6 会場）

公式テキスト「イベント・プロフェッショナル I / II」から出題。

マークシート問題 100 問 110 分。

合否は受験後 1 週間をめどに、ホームページで合格番号を発表し、登録手続きを開始し、合否判定を早期に行った。

※「イベント業務管理士」資格更新に関して

2017 年度の 1 級の資格更新対象者は 509 名で、更新手続きを行ったのは 421 名、更新率は 82.7%であった。2 級は 1 級に合格すると更新が不要となるため、資格更新対象者 100 名に対し、63 名が更新した。（更新手数料収入は約 500 万円）

各種検定試験

(1) イベント検定

前期、後期の年 2 回の試験を実施した。賛助校はカリキュラム内での学校内受験か、オープン受験か選択が可能であり、多くが学校内受験を選択した。

試験問題は、公式テキストから出題し、いずれも 50 問 60 分マークシート方式。

2017 年度も賛助校における講座受講者が大幅に増え、講座内試験での受験率も大幅に向上した。

オープン受験の試験会場は、障がい者対応、急遽増員した場合の臨機応変な対応、セミナー、試験での同一会場などのニーズから、外部の貸し会議室 (TKP) を利用。試験とセミナーの実施当日については、JEPC、JEDIS に運営委託した。

オープン受験は、7 月 8 日（土）に東京、大阪の 2 会場で、2017 年 11 月 18 日（土）は会場を 6 会場に拡大し、札幌、新潟、東京、名古屋、

大阪、福岡で実施した。

賛助校内受験、オープン受験含め、合計 431 名（前年 425 名）が受験し、前年対比 101.4%であった。

（2）スポーツイベント検定

2017 年度は賛助会員校のうち、順天堂大学、城西大学で「スポーツイベント検定試験」を行なった。また昨年度に引き続き近畿日本ツーリストで「スポーツビジネス体験プログラム」の中でスポーツイベント検定の受験を実施した。受験者は 170 名（前年 165 名）となり、前年度 103.0%とほぼ横ばいであった。

（3）ユニバーサルイベント検定

ユニバーサルイベント検定は賛助校内での試験は実施していないため、オープン受験である。受験者は 35 名（前年 53 名）と伸び悩み、今後の対応策を検討する必要性がある。

教育事業

（1）「イベント業務管理士 1 級・2 級」試験対策セミナー

試験合格に特化した試験対策セミナーを実施した。セミナー会場の増加と講師育成を兼ね、担当講師を追加した。イベント業務管理士 1 級・2 級のセミナー参加者が増えているため、今後は試験の出題傾向などを踏まえてセミナー実施に向けては改善が必要である。セミナー会場も試験と同様に従来の東京・大阪に札幌会場を追加し、3 会場で実施した。

（2）通学講座

通学講座は、従来どおりに賛助会員校（大学及び専門学校、全国 18 校）にて「イベント検定」「スポーツイベント検定」の授業を展開、通年の講座を開設した。

2-1-5 その他活動等

賀詞交歓会等

例年通り、6 月 12 日に定時総会後の懇親パーティーを JACE イベントアワードの受賞パーティーと合わせ実施し、1 月 23 日に賀詞交歓会をホテルグランドアーク半蔵門にて実施したが、両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を促進したほか、7 月 13 日にゴルフコンペをロッテ皆吉台カントリークラブにて開催した。

2-2 他団体等との交流

2-2-1 イベント関連団体

（1）イベント学会

■2017 年 9 月 22 日「愛知・名古屋」はすごいぞフォーラム

@新東通信 8 階ホール

■2017 年 12 月 1 日「KANSAI イベント ダイナミクス」

@グランフロント大阪

■2018年2月20日 イベント学会第20回研究大会
@東海大学高輪キャンパス

(2) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS)

■2017年10月10日 第21回定時総会・懇親会
@半蔵門 JET STREAM

(3) 日本イベントプロデューサー協会(JEPC)

■2018年1月17日 2017年アスタナ国際博覧会視察レポート
@ J e p c 会議室

■2018年1月30日 新年賀詞交歓会
@神田平沢ビル6階ウェルネスルーム

(4) 展示会関連団体連絡会（構成員：経産省、JETRO、日展協、日本電機工業会・展博委員会）

■2017年4月14日 連絡会 @JETRO

■2017年6月16日 連絡会 @大阪

■2017年8月4日 連絡会 @JETRO

■2017年10月13日 連絡会 @JEMA

■2018年2月16日 連絡会 @JEMA

(5) その他関連団体（地方団体へのアプローチ等）

■2017年11月28日 アクセス札幌交流会出席
イベントアワード及び検定資格試験の紹介

■2017年12月14日 沖縄コンベンションビューロ来協
検定資格試験の沖縄開催の問合せ

■2018年2月16日 夢メッセみやぎ講演会・交流会出席
イベントアワード及び検定資格試験の紹介

■2018年3月19日 八王子観光コンベンション協会
新しい集客スタイル<八王子 MICE の可能性>
@八王子生涯学習センター

2-2-2 行政等

(1) 2020 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会

開会式&閉会式の運営事業者選考にかかわる人的協力や仮設オーバーレイ工事説明会の広報（第1回:2017年12月1日、第2回:2018年1月31日）を実施。

その他、ボランティア等プロジェクトへの人材・教育プログラム提供等について調整中である。

※オリンピック関連としては、2018年2月2日に、アメリカ大使館主催セミナー<オリンピックスタジアムを負の資産としないために>に出席。

(2) 東京観光財団

■2017年5月24日、7月24日(計2回) 東京都 MICE 連携推進協議会への参加 東京都への MICE 誘致に関する情報共有や連携を目的と

して、国・事業者・団体など官民の関係主体からなる協議会が設置され JACE からは委員として参加。

- 2017年10月25日 国際イベント誘致・開催等に特化した国際イベント部会に出席。

委員は、ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、丹青社、電通ライブ、ADK アーツ、近畿日本ツーリスト。(部会長/穂刈専務理事)

- 2018年1月18日 東京都 MICE シンポジウム

@紀尾井町カンファレンスメインルーム

- 2018年2月6日 東京観光財団 MICE 推進協議会に出席

@<ユニークベニュー>東京都美術館

- 2018年2月14日 東京都ユニークベニューセミナー

@清澄庭園

- 2018年3月28日 東京都庭園美術館大規模改修式典出席

その他

- 2018年2月28日 観光庁 MICEEXPO (IME2018)

@京王プラザホテル

2-2-3 広告関連団体

広告関係団体連絡会

- 2017年9月14日 連絡会 @日本アドバイザーズ協会

- 2017年12月4日 連絡会 @日本アドバイザーズ協会

- 2018年1月5日 平成30年広告界合同年賀会

@帝国ホテル本館2階「孔雀の間」

- 2018年2月8日 連絡会 @日本アドバイザーズ協会

2-2-4 その他

賛助会員・認定校講師セミナー

認定校での講師による交流を深める目的と、運営上の理解を深め、円滑に業務が実施できることを目的とし、賛助会員、正会員の学校内で検定試験の授業にあたる講師向けセミナーを2017年6月3日と、2018年3月14日の年に2回、実施した。

対象は、JACEの正会員、賛助会員で、大学、専門学校で「イベント検定」「スポーツイベント検定」の授業を実施している18校17名の講師と能力コンテンツ委員会メンバー、および試験・セミナー講師が参加した。

2017年6月3日は、東京グリーンパレスにて実施。「2017年度の運用」の周知を中心に20名の参加者で交流を深めることができた。セミナーでは、講師からかねがねリクエストのあったイベント検定試験の指導について、ポイントを説明し、好評を得た。

2018年3月14日は、「2018年度の運用」の告知として、通常6月に実施するところを新年度前に実施することで、業務の効率化をはかる目的で実施した。TKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて、平日開催とし、16名の参加者で交流を深めると同時に、今後の課題に関して検討を行った。学校内でのスポーツイベント検定、ユニバーサルイベント検定の受験を進めるなど、新たな取り組みも提案した。

2-3 広報活動

2-3-1 協会HP・メールマガジンによる情報発信

2017 年は、タイムリーにオウンドメディアである協会 HP にて「What's New」情報公開をするとともに、「JACE-メルマガ」にて会員企業及び資格者 2,800 名以上の登録者に向けダイレクト発信した。

- What's New(4/14)「第3回 JACE イベントアワード 一次選考通過作品の発表
- What's New(4/17)「東京 2020 応援プログラム」認証対象拡大のお知らせ
- What's New(4/17)「ケベック州デジタルエンターテイメント企業セミナー」参加報告
- What's New(5/17)「第3回 JACE イベントアワード」優秀賞発表
- JACE メルマガ(5/24) 東京消防校「安全啓発 熱中症対策・危険物取扱」
- JACE メルマガ(6/1) 環境省「熱中症対策実用情報」
- What's New(6/12)「平成 28 年国内イベント消費規模推計」の発表
- What's New(6/13) 第3回 JACE イベントアワード 各賞の発表
- What's New(6/19) 第3回 JACE イベントアワード 表彰式・受賞者パーティー広報
- What's New(7/3) イベント業務管理士 2 級・受験票発送開始の案内
- JACE メルマガ(7/4) 環境省「熱中症対策『暑さ指数サイト』公開」
- What's New(7/18) イベント業務管理士 2 級資格試験・合格者の発表
- JACE メルマガ(9/15) イベント学会「名古屋フォーラム」開催
- What's New(10/10)「第4回 JACE イベントアワード」応募開始の案内
- JACE メルマガ(10/10)「第4回 JACE イベントアワード」応募開始
- What's New(11/1) イベント業務管理士 1 級資格試験・受付開始の案内
- What's New(11/8) イベント業務管理士 2 級・受験票発送開始の案内
- What's New(11/21) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備説明会の案内
- What's New(11/28) イベント業務管理士 2 級・合格発表
- What's New(11/28) イベント業務管理士 1 級試験・札幌会場の案内
- What's New(12/5) 年末年始休業のお知らせ
- JACE メルマガ(1/24)「ユニークベニューセミナー」案内
- What's New(2/2) イベント業務管理士 1 級 試験対策セミナー終了のお知らせ
- What's New(2/2) イベント業務管理士 1 級 受験票発送の案内
- What's New(2/5)「JACE 賀詞交歓会 2018」開催の報告
- What's New(2/22) イベント業務管理士 1 級 試験終了のお知らせ
- What's New(3/16) イベント業務管理士 1 級試験 合格発表
- What's New(3/22) 2018 年度試験受付開始のお知らせ

2-3-2 資格・検定試験の情報発信の活性化

検定サイトは、ワードプレスという簡易更新システムを導入しているため、即日 JACE 内でのHP更新が可能である。検定試験の案内、受験時の注意事項、合格者発表などをタイムリーに掲載することができるため、受験者からも好評を得た。今後、業務管理士への情報提供についても、同様のシステムを検討していきたい。

2018年度の検定の広報活動は、4月からの申し込みがスムーズになるよう2017年3月にチラシ、ポスターを完成、3月22日から受付を開始した。

協会HPにおける告知

- 2017年7月3日 「7/8 イベント検定・スポーツイベント検定・ユニバーサルイベント検定受験票送付のお知らせ」
- 2017年7月18日 「イベント検定試験 受験者の皆様へ」
「第22回 イベント検定 合格者発表」
「第8回 スポーツイベント検定 合格者発表」
「第5回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表」
「2017年度11/18 試験、3つの検定 受付開始」
- 2017年11月9日 「11/18 イベント検定・スポーツイベント検定・ユニバーサルイベント検定受験票送付のお知らせ」
- 2017年11月24日 「第23回 イベント検定 合格者発表」
「第9回 スポーツイベント検定 合格者発表」
「第6回 ユニバーサルイベント検定合格者発表」
- 2018年3月22日 「2018年 試験受付開始」

2-3-3 その他広報活動等

「宣伝会議」コラム連載

2017年6月号より月刊「宣伝会議」のイベント情報コラムを連載

- 2017年06月号：日本における『イベント』の今
- 2017年07月号：「2017 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」のスポーツイベントとしての意義
- 2017年08月号：第3回 JACE イベントアワード受賞作品から見えるもの
- 2017年09月号：アスタナ国際博覧会から見えてきたこと
- 2017年10月号：カザフスタンと国際博覧会
- 2017年11月号：EXPO2020 ドバイ UAE
- 2017年12月号：スペシャルオリンピックス日本がやってくる
- 2018年01月号：エキシビション「モーターショー」の描く未来図、
- 2018年02月号：イベントに期待する初夢 明るい希望のある日本へ
- 2018年03月号：2020年を見据えてイベントに期待するもの
- 2018年04月号：イベントが地域を元気にする
- 2018年05月号：オリンピック・パラリンピックの【開閉会式】というイベント
- 2018年06月号：“生涯スポーツ”トライアスロンとパラスポーツとの連携
以上

2017年度 財務諸表

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・預金	28,003,354	32,122,706	△4,119,352
未収金	1,417,143	1,590,124	△172,981
前払金	225,809	164,251	61,558
貯蔵品	771,227	2,283,252	△1,512,025
流動資産合計	30,417,533	36,160,333	△5,742,800
2 固 定 資 産			
(1) その他固定資産			
建物附属設備	534,182	661,142	△126,960
什器備品	158,685	68,083	90,602
電話加入権	599,872	599,872	
商標権	1	10,450	△10,449
ソフトウェア	2,341,593	3,451,942	△1,110,349
敷金	1,811,012	1,811,012	
その他固定資産合計	5,445,345	6,602,501	△1,157,156
固定資産合計	5,445,345	6,602,501	△1,157,156
資産合計	35,862,878	42,762,834	△6,899,956
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	1,554,817	9,015,837	△7,461,020
預り金	6,155	15,438	△9,283
未払法人税等	70,000	70,000	
未払消費税等	468,300	413,300	55,000
流動負債合計	2,099,272	9,514,575	△7,415,303
負債合計	2,099,272	9,514,575	△7,415,303
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	33,763,606	33,248,259	515,347
正味財産合計	33,763,606	33,248,259	515,347
負債及び正味財産合計	35,862,878	42,762,834	△6,899,956

正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入金会金	(70,000)	(40,000)	(30,000)
受取入金会金	70,000	40,000	30,000
② 受取会費	(25,110,000)	(24,870,000)	(240,000)
正会員受取会費	22,470,000	22,410,000	60,000
賛助会員受取会費	2,640,000	2,460,000	180,000
③ 事業収益	(37,411,988)	(37,706,467)	(Δ294,479)
人材育成事業収益	31,879,258	29,251,073	2,628,185
調査研究事業収益	730,358		730,358
普及啓発事業収益	4,802,372	3,181,444	1,620,928
支援事業収益		5,273,950	Δ5,273,950
④ 雑収益	(412,314)	(423,591)	(Δ11,277)
受取利息	276	220	56
雑収益	412,038	423,371	Δ11,333
経常収益計	63,004,302	63,040,058	Δ35,756
(2) 経常費用			
① 事業費用	(42,693,531)	(46,102,261)	(Δ3,408,730)
給料手当		1,759,462	Δ1,759,462
臨時雇賃金	83,189	335,023	Δ251,834
法定福利費		756,322	Δ756,322
会議費	3,055,573	4,028,739	Δ973,166
旅費交通費	2,230,530	2,491,263	Δ260,733
通信運搬費	1,868,674	514,452	1,354,222
消耗品費	10,496	41,649	Δ31,153
印刷物作成費	2,578,025	9,267,491	Δ6,689,466
諸謝金	2,353,794	2,044,108	309,686
委託費	16,607,869	17,173,954	Δ566,085
図書費	57,396		57,396
広報費	250,000	1,389,249	Δ1,139,249
会場費	11,100,837	4,140,911	6,959,926
減価償却費	788,349	788,349	
賞典費	1,430,000	1,300,000	130,000
支払寄付金		53,000	Δ53,000
雑費	278,799	18,289	260,510
事業費計	42,693,531	46,102,261	Δ3,408,730
② 管理費			
給料手当	1,649,925		1,649,925

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
法 定 福 利 費	574,995		574,995
福 利 厚 生 費	248,159	217,566	30,593
会 議 費	1,640,233	1,360,903	279,330
旅 費 交 通 費	630,911	7,824	623,087
通 信 運 搬 費	710,225	797,087	△86,862
消 耗 品 費	1,709,927	1,672,101	37,826
印 刷 物 作 成 費	240,200	150,000	90,200
リ ー ス 料	2,049,819	2,089,460	△39,641
諸 謝 金	1,258,000	1,058,000	200,000
委 託 費	74,300		74,300
会 費	692,000	702,000	△10,000
慶 弔 費	242,930	15,000	227,930
支 払 手 数 料	184,392	425,183	△240,791
租 税 公 課	1,762,397	1,835,833	△73,436
減 価 償 却 費	520,358	516,452	3,906
商 標 権 償 却 費	10,449	20,900	△10,451
水 道 光 熱 費	662,740	659,373	3,367
賃 借 料	4,797,222	4,800,000	△2,778
雑 費	66,242	184,662	△118,420
管 理 費 計	19,725,424	16,512,344	3,213,080
経 常 費 用 計	62,418,955	62,614,605	△195,650
評価損益等調整前当期経常増減額	585,347	425,453	159,894
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	585,347	425,453	159,894
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	585,347	425,453	159,894
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	515,347	355,453	159,894
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	33,248,259	32,892,806	355,453
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	33,763,606	33,248,259	515,347
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	33,763,606	33,248,259	515,347

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法
定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,370,000	835,818	534,182
什器備品	718,377	559,692	158,685
商標権	209,000	208,999	1
ソフトウェア	5,851,752	3,510,159	2,341,593
合 計	8,149,129	5,114,668	3,034,461

2018年度 事業計画 収支予算

I. 協会の現状

一般社団法人イベント産業振興協会は、イベントビジネスに携わる様々な業種の企業を正会員としている。あわせてイベントの各ステージにかかわるイベント・プロフェッショナル人材の育成では、イベント業務管理士資格制度を持って取り組んでおり、受験者は増加傾向にある。

平成31年度(2019年度)は、協会として創立30周年にあたる。本年度は、さらなる健全経営を念頭に置き、会員事業、資格事業をコアとしながら、新たな事業計画を掲げるステージに入ったと理解している。

II. 会員事業及び協会運営

イベントビジネスの伸長を見込んで、協会に加盟する企業は増加している。また、従来の元請けからはじまるビジネス商流のみならず、イベントの場を新たな事業フィールドとして位置付け、企業の強みを活かそうというポジティブな傾向が続いている。この数年、新たな会員は新たな資格取得による資格者増に結びつく傾向が高い。そのことに留意した正会員、賛助会員の獲得プランを描く。

2-1 会員事業

現在63社の正会員企業を中期計画目標70社へ増やす。そのためには後述の調査研究事業、セミナー等を中心とした普及啓発事業を積極的に展開する。また従来からのイベント関連団体のみならず、広告関連団体など諸団体との連携を進めることで協会の認知を拡大し、会員獲得のプロスペクトを増やしていく。

また、大学、専門学校における学生獲得競争が進む中で、イベント3検定の資格取得を推進していくメリットをアピールすることで賛助会員を増やす。

2-2 協会運営

正会員による委員会と部会の活動を積極的に展開する。活動テーマ(案)としては以下を想定する。

- ▶ 総務委員会…協会運営の統括と理事会議案の確認・調整
 - ・創立30周年部会…30周年をイベント産業の拡大発展と業界顕在化の契機とする
 - ・オリパラ部会…オリパラの情報共有と組織委員会プロジェクトへの参画、スポーツ領域のネットワーク構築
 - ・(地域振興)…検討中
- ▶ 広報委員会…協会の広報全般(市場規模、コミュニケーション、表彰)の統括
 - ・市場調査部会(消費/産業)…消費規模推計の維持と産業規模推計(当面は「日本の広告費」)スタートアップ
 - ・セミナー部会…情報発信による会員社&資格者へのコミュニケーション強化
 - ・アワード部会…イベントアワードの普遍化による協会プレゼンスアップ
- ▶ 人材育成委員会…資格検定事業(テキスト、セミナー、試験)の推進/人材ネットワークの構築
- ▶ 安全委員会…イベントにおける安全の定義の構築/「安全ノート」と次の

2-3. 事務局運営

今年度も正会員企業からの出向者を中心にした運営体制を継続する。創立30周年を機に、協会のプレゼンス強化を目標に協会ホームページほかの対外的な発信力の整備と見直しを実施する。また、セミナー、アワード等の普及啓発活動を通じ、会員・関係者・見込客の名簿リストの精緻化を進める。

Ⅲ. 人材育成事業

イベント業務管理士、イベント検定ともに受験者は伸びつつあるが、ゴールデン・スポーツイヤーズに向っての現状と今後想定される変化を踏まえた対応を実施する。ひとつは受験者（及び合格による資格保有者）の拡大、特に東京以外の地域における拡大への対応。もうひとつは現行のテキストコンテンツのリニューアルである。また、前者についてはイベント業務管理士協会（JEDIS）との協議を適宜進める。

3-1. 資格事業 イベント業務管理士1級・2級

- イベント業務管理士1級の受験資格者を増やすために、イベント業務管理士2級試験を年2回実施する。
- 試験対策セミナーの充実を図る。
- 受験者の利便性を図るため試験会場を検討する。現状は1級は東京、大阪のみ。2級は札幌・新潟・東京・大阪・福岡の5会場だが、1級、2級ともに名古屋を加えた6会場での実施可能性を検証していく。
- 潜在的顧客、見込客に対するアプローチを段階的、且つ戦略的に行う。

3-2. 検定事業

- 3つの検定とイベント業務管理士2級の試験を同日に行うことで、地方の受験者が一度に2つの試験を受験できる場を提供する。
- イベント検定は、オープン受験に加え認定校の授業スケジュールに合わせた学校内受験を継続することで受験者増をねらう。
- スポーツイベント検定は関連する学校への周知を促進する。
- ユニバーサルイベント検定は、ターゲットをイベント業務管理士資格保有者に設定し、重点的に価値アピールを図る。単独での黒字化をめざす。
- 受験会場を札幌・新潟・東京・名古屋・大阪・福岡の6会場に増やす。
- 賛助校受験の維持・拡大施策として、JACE セミナーへの参加の呼びかけを図る。
- 検定事業に対する会員社理解をより促して、受験者の拡大を図る。

3-3. 教育事業

- テキスト教材として既存テキスト、出版物のデジタルデータ化を促進する。
- イベント業務管理士1級2級の公式テキスト「イベント・プロフェッショナル」2分冊を一冊に改訂し、2018年度より改定テキストによる運用を開始する。
- 試験対策セミナー講師、賛助校派遣講師を、日本イベント業務管理士協会（JEDIS）と連携し図っていく。

IV. 調査研究事業

2016年秋～2017年春に実施した「イベント未来創造プロジェクト」の検討成果を踏まえイベントビジネスに関わる協会としての調査研究プログラムを再設計する。

4-1. イベント消費規模推計報告書

平成24年度に再スタートした来場者消費額調査は生活者とイベントの関わり合いのベンチマークとしてきた。イベント業務管理士との関係強化の狙いは満たしつつあるが、会員企業のニーズを満たしていない側面があるため、コストバランスを調整しながら継続を検討する。

4-2. イベントビジネス市場規模把握のための調査

会員企業からのニーズの高い領域であり、イベントビジネス市場のベンチマークとして継続調査できる体制を構築する。経済産業省からの支援のもと、イベント産業市場規模算定の基礎となる「日本の広告費」の新たな調査項目「イベント広告費」の発表を目指す。(2019年2月)

4-3. その他 調査研究

会員のビジネスに資する調査研究を行う。昨年夏期開催のアスタナ万国博覧会視察ツアーは、博覧会イベントの現場を利用した若手のノウハウ研修、ビジネスネットワーク拡大強化に資する企画として好評を博した。本年度も、適宜同様の企画提案を目指して検討中。

V 普及啓発事業

JACEイベントアワードは4年目を迎え、イベントを取り巻く様々なテーマと課題解決手法の集成として定着しつつある。集まったイベント情報は、昨年度に実施した会員企業およびイベント業務管理士という両ステークホルダーを対象としたセミナー、研究、説明会等において非常に有効なコンテンツとなっている。

5-1. JACE イベントアワード

第4回の選考作業を進め、6月12日に表彰式、受賞パーティーを実施する。創立30周年に当たるアワードということもあり、経済産業省との連携を深めながら、より発信力のあるコンテンツとして昇華させたい。

5-2. 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー、説明会

セミナー部会を立ち上げ、セミナー企画を立案するとともに仕組み作りを確立する。

- ▶ ゴールデンイヤーズ(2019～2021年)のスポーツをテーマにしたセミナーのシリーズ展開。
- ▶ 2020東京オリパラ組織委員会との「2020東京オリパラ参画プログラム説明会」等の時宜にかなったテーマ設定による説明会の展開。
- ▶ 日本マーケティング協会と共催セミナーを再開、東京・大阪に加え、福岡・名古屋での開催を検討。

5-3. 交流

- ▶ 協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、JETRO、イベント関連団体等との連携を一層強化するとと

もに、広告関連団体や各種関係団体等との交流を拡大促進する。

- 会員社と資格者のリテンションに際しては、セミナーや説明会開催ほかの各種案内、オリパラ関連情報等を常に発信し続ける。

5-4. 広報

- 協会ホームページや電子メール、プレスリリースによる適宜の情報発信を維持しつつ、広報委員会による企画の施行と効果検証を行う。
- 協会ホームページのリニューアルを検討する。
- 月刊「宣伝会議」のイベント情報コラム（専務理事、理事ほかによる執筆）は、本年度も継続掲載が決定。
- ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会で継続する後援名義とボランティアのフレームは貴重であり、他のスポーツイベントに拡大展開を検討する。

以上

2018年度 収支予算

2018.05.21

単位(円)

□事業収支	事業収入	事業費用	収支差額
1. 人材育成事業	30,800,000	21,100,000	9,700,000
① イベント業務管理士1級	10,000,000	4,500,000	5,500,000
② イベント業務管理士2級	10,000,000	3,600,000	6,400,000
③ イベント検定	6,700,000	4,500,000	2,200,000
④ スポーツイベント検定	2,600,000	2,000,000	600,000
⑤ ユニバーサルイベント検定	1,500,000	1,500,000	0
⑥ 業務管理士テキスト改訂	0	2,500,000	△2,500,000
⑦ 事業共通費(講師育成・普及ツール等)	0	2,500,000	△2,500,000
2. 調査研究事業	1,000,000	5,300,000	△4,300,000
① イベント市場規模調査	1,000,000	4,500,000	△3,500,000
② イベントビジネス市場規模調査	0	300,000	△300,000
③ その他 調査研究	0	500,000	△500,000
3. 普及啓発事業	5,620,000	15,900,000	△10,280,000
① 顕彰(JACEアワード)	2,500,000	9,000,000	△6,500,000
② セミナー	1,000,000	900,000	100,000
③ 交流	2,000,000	4,500,000	△2,500,000
④ 広報	120,000	1,500,000	△1,380,000
4. 委員会運営	0	1,500,000	△1,500,000
委員会・部会運営	0	1,500,000	△1,500,000
□事業収支 計	37,420,000	43,800,000	△6,380,000

	会費等収入	管理費支出	収支差額
■会費・管理費	26,150,000	19,770,000	6,380,000
新)入会金	70,000		
新)正会員会費	360,000		
既)正会員会費	22,680,000		
既)賛助会員会費	2,640,000		
雑収入	400,000		
給料手当		1,700,000	
法定福利費		600,000	
福利厚生費		250,000	
会議費		1,800,000	
旅費交通費		500,000	
通信運搬費		700,000	
消耗品費		1,700,000	
印刷作成費		300,000	
リース料		2,000,000	
諸謝金		1,200,000	
会費		700,000	
支払手数料		200,000	
租税公課		1,800,000	
減価償却費		520,000	
水道光熱費		700,000	
賃借料		4,800,000	
雑費		300,000	
■□経常収支合計	63,570,000	63,570,000	0